

平成 29 年 春の企画展

戦傷をのり越えて描いた日々 ～水木しげる・上田毅八郎の軌跡～

開催趣旨

漫画家・妖怪研究者として広く知られている水木しげる（本名 武良茂）、プラモデルの箱絵で知られる海洋船舶画家の上田毅八郎、二人はともに戦傷病者でした。左腕を失くした水木は、戦後に右腕一本で紙芝居・貸本漫画のキャリアを積み、後に漫画家として人気を博します。利き腕である右腕の自由を失った上田は、左手で練習を重ね、精密かつ迫力のあるプラモデルの箱絵を描く画家として著名になりました。

しょうけい館では、常設企画展「武良茂（水木しげる）の人生」と題し、一兵士の武良茂が体験した戦地での生活・受傷・復員、そして戦後の混乱期を様々な職に就いて乗り越えた労苦を作品・個人資料・映像でお伝えしています。また、数年にわたって寄贈された上田毅八郎の絵画作品・資料を、今日まで企画展・ミニ展示・映像などで紹介してきました。

惜しまれながらこの世を去られた二人の戦傷病者に対する追悼の意を込めて、二人の戦争体験を知ることのできる資料に加え、残された作品の中からあまり知られていない一面を垣間見ることのできる作品を中心に紹介します。

主 催 : しょうけい館（戦傷病者史料館）
会 期 : 平成 29（2017）年 3 月 7 日（火）～5 月 7 日（日）
会 場 : しょうけい館 1 階
入 場 料 : 無料
開 館 時 間 : 10 : 00～17 : 30（入館は 17 : 00 まで）
休 館 日 : 毎週月曜日（祝日は開館・翌平日閉館）
内 覧 会 : 平成 29（2017）年 3 月 7 日（火）10 : 00～12 : 00
関連イベント : 証言映像上映、学芸員による展示解説

展示構成

1. ふたりの仕事

水木しげると上田毅八郎、ふたりの仕事には接点はないように思われますが、実は『週刊少年マガジン』に携わったという点では同じでした。水木しげるは1965年から「墓場の鬼太郎」（後の「ゲゲゲの鬼太郎」）を連載し、上田毅八郎も戦艦や戦闘機、帆船の特集でイラストを掲載していました。本展では、水木と上田それぞれが表紙を描いた『週刊少年マガジン』を展示し、ふたりの仕事の共通点をご紹介します。



水木しげるが表紙を描いた
『週刊少年マガジン』（1968年9月1日号）

資料提供：©水木プロ



上田毅八郎が表紙を描いた
『週刊少年マガジン』（1976年3月21日号）

2. 水木しげるの軌跡

水木しげる（本名：武良茂）は、21歳の時に召集令状を受け、南方の激戦地であるパプアニューギニアのラバウルへ送られます。ラバウルでは、見張りをしている間に米軍の急襲に遭い、水木以外が全滅、命からがら逃げて原隊へ戻ったら、なぜ死なずに逃げたのかと怒られる始末でした。さらにマラリアにかかり衰弱していた水木の近くに爆弾が落とされ負傷し、左腕を麻酔なしで切り落とされました。戦争でこのように大変な経験をした水木は、戦後も貧しさに苦しみ、魚屋として働いたり、街頭募金をして全国を歩き回ったりもしましたが、紙芝居・貸本漫画の仕事を経て、誰もが知る漫画家としての成功を収めました。

この入営からラバウルでの受傷、そして戦後の活動までを、水木しげるの出征時や入院時の写真、水木著作本の挿絵に加え、しょうけい館では初の展示となる戦傷病者手帳（複製）・傷痕軍人会会員証（複製）をもとに紹介します。



水木しげるの戦傷病者手帳(複製)

資料提供：©水木プロ



「背囊を背負って砂浜を歩く」

『水木しげるのラバウル戦記』(1994年 筑摩書房)

資料提供：©水木プロ

3. 上田毅八郎の軌跡

上田毅八郎は、幼いころより乗り物を見ることに興味を覚え、自動車・飛行機・軍艦等の絵を夢中で描いているような少年でした。21歳の時に太平洋戦争が勃発し、陸軍船舶砲兵として太平洋の北から南までを駆け巡り、3年8か月の航海で上田が乗った船は計26隻にも及びます。そのうち6隻が被弾・撃沈されました。最後に乗った金華丸では右腕を負傷し、利き腕の自由を失いました。戦後、左腕一本で生活を支えるため文字と絵画の訓練に励み、プラモデルの箱絵を筆頭に、雑誌やカレンダーなどの多くのイラストを手掛けてきました。そして亡くなるまでに6000点以上の作品を描き、中でも軍艦のプラモデルの箱絵は現在も多くの人に親しまれています。

本展では、上田毅八郎の従軍体験や受傷の瞬間、戦後のイラストレーターとしての仕事を、上田の作品・愛用道具・書簡などにより紹介します。また、上田が描いていた船舶以外の風景画や海外の古城、そして未来の乗り物など幅広いテーマの作品を展示し、一般には知られていない上田作品の世界をご覧ください。



箱絵を描く上田毅八郎



金華丸の最後 (1987年作)

関連イベント

水木と上田の証言映像上映

内容：しょうけい館が収録した水木しげる夫妻と上田毅八郎の証言映像を上映します。

日時：会期中毎日 10：00～17：00

場所：しょうけい館 1階証言映像シアター

その他：鑑賞自由・無料

フロアレクチャー

内容：学芸員が企画展の展示解説をします。

【注目】フロアレクチャー限定で、7mにも及ぶ水木しげるの「人生絵巻」の全巻がご覧いただけます。

日時：3月18日（土）、4月8日・22日（土）、5月6日（土） 14：00～14：30

場所：しょうけい館 1階

その他：当日参加自由・無料